



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,438	2.4	84	30.4	73	△11.2	47	9.2
26年3月期第1四半期	2,380	45.9	65	—	83	151.3	43	38.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 64百万円(△8.6%) 26年3月期第1四半期 70百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.10	—
26年3月期第1四半期	9.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,293	5,360	47.5
26年3月期	11,067	5,333	48.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,360百万円 26年3月期 5,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,710	11.1	282	13.0	278	0.4	195	△26.8	41.45
通期	10,758	9.7	488	13.0	480	4.5	338	△21.6	71.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	4,746,000株	26年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	40,889株	26年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	4,705,111株	26年3月期1Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う消費の低迷懸念や円安傾向から輸入品価格上昇等で景気下振れリスク要因があったものの、政府・日銀による経済政策や金融政策の対策が顕在化し下支え効果から、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、主原料（魚粉・小麦粉）価格が高止まりしているほか、消費者の節約・低価格志向が継続していることなどから、企業間の価格競争が続く厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、生産性の効率化、材料コストの削減及び低採算商品の見直しに努め、売上成長を模索しながら利益重視の経営に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は24億38百万円と前年同期と比べ57百万円（2.4%）の増収、営業利益は84百万円と前年同期と比べ19百万円（30.4%）の増益、経常利益は73百万円と前年同期と比べ9百万円（11.2%）の減益、四半期純利益は47百万円と前年同期と比べ4百万円（9.2%）の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節の変動があります。したがって、当第1四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、中南米の輸入魚粉マーケットは、魚粉原料のカタクチイワシ漁が低調で生産量が減少していることや中国を主体にアジア各国向けの引き合いが多く、魚粉価格は高値取引で先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、エビ飼料類及びハマチ飼料類は養殖飼育環境が良好であったことや生産物相場も前年度と比べ高値取引であったことなどを背景に、既存顧客のシェアアップ及び受託生産販売が順調に推移したことから売上高は前年同期を上回りました。マダイ飼料類は昨年の上値前駆け込み需要の反動減や価格競争等で他社メーカーに流出（シェア減）したことから売上高は前年同期を大幅に下回りました。また、マリンテック株式会社（当社100%子会社、愛知県田原市）は水産初期飼料の販売が順調に推移したことから前年同期を上回りました。

その結果、売上高は14億90百万円と前年同期と比べ1億29百万円（8.0%）の減収となりました。セグメント利益は83百万円と前年同期と比べ29百万円（53.9%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費税率引き上げに伴い食料品の最寄品を中心に消費者の節約・低価格志向が継続するなかで、消費増税の影響は軽微に止まったものの、企業間の価格競争が続く厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のなか、積極的な販売活動において「皿うどん」のテレビコマーシャルを行うと同時に全営業所で試食宣伝販売やキャンペーンを行うなど主力商品のPR・販売促進の強化に努めてまいりました。しかしながら、即席めん類の売上高は前年同期並みに止まり、乾麺類（うどん・そば・そうめん）及び皿うどん類が低調に推移したことから売上高は前年同期を下回りました。

コスモ食品株式会社（当社100%子会社、横浜市磯子区）は、玉ねぎ・胡麻・根昆布ドレッシングに続き、カレー・ルー製造のノウハウを活かし「カレードレッシング」を新発売するなど、新商品の育成に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。また、昨年7月に子会社となった株式会社向井珍味堂（当社100%子会社、大阪市平野区）の香辛調味料等の販売が売上高増に寄与しております。

その結果、売上高は9億48百万円と前年同期と比べ1億87百万円（24.6%）の増収となりました。セグメント利益は68百万円と前年同期と比べ8百万円（10.8%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億26百万円増加し、112億93百万円となりました。これは、主として流動資産の原材料及び貯蔵品が1億19百万円、現金及び預金が63百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が4億5百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億99百万円増加し、59億32百万円となりました。これは、主として長期借入金が1億52百万円、未払法人税等が1億10百万円減少しましたが、買掛金が2億3百万円、短期借入金が1億90百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ26百万円増加し、53億60百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が16百万円、利益剰余金が9百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月16日開示の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,187,787	2,123,929
受取手形及び売掛金	1,379,581	1,785,350
有価証券	82,445	81,213
商品及び製品	443,260	487,680
仕掛品	118,076	101,081
原材料及び貯蔵品	1,149,748	1,029,986
その他	187,534	173,474
貸倒引当金	△7,168	△8,396
流動資産合計	5,541,265	5,774,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,225,575	1,209,767
機械装置及び運搬具（純額）	650,800	650,478
土地	2,093,519	2,093,519
その他（純額）	61,171	63,914
有形固定資産合計	4,031,066	4,017,678
無形固定資産		
のれん	409,313	397,274
その他	29,777	31,199
無形固定資産合計	439,091	428,474
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,117,800	1,113,280
貸倒引当金	△62,100	△40,458
投資その他の資産合計	1,055,699	1,072,822
固定資産合計	5,525,857	5,518,975
資産合計	11,067,122	11,293,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	397,260	600,668
短期借入金	1,976,562	2,166,833
未払法人税等	130,361	19,844
賞与引当金	114,518	92,261
その他	318,514	444,187
流動負債合計	2,937,218	3,323,794
固定負債		
長期借入金	2,135,880	1,983,436
役員退職慰労引当金	396,664	399,569
退職給付に係る負債	71,846	73,574
その他	191,553	152,341
固定負債合計	2,795,943	2,608,921
負債合計	5,733,162	5,932,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,201,484	4,211,381
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,234,815	5,244,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,787	76,720
繰延ヘッジ損益	39,357	39,146
その他の包括利益累計額合計	99,144	115,866
純資産合計	5,333,960	5,360,579
負債純資産合計	11,067,122	11,293,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,380,962	2,438,704
売上原価	1,899,742	1,930,000
売上総利益	481,219	508,704
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	99,823	81,019
貸倒引当金繰入額	21,641	2,017
給料及び賞与	100,596	115,739
賞与引当金繰入額	12,748	24,187
役員退職慰労引当金繰入額	2,655	3,605
その他	178,692	197,272
販売費及び一般管理費合計	416,157	423,841
営業利益	65,062	84,862
営業外収益		
受取利息	48	108
受取配当金	2,051	2,322
為替差益	13,998	-
雑収入	9,577	5,111
営業外収益合計	25,676	7,542
営業外費用		
支払利息	7,547	7,271
為替差損	-	9,458
雑損失	76	1,848
営業外費用合計	7,623	18,578
経常利益	83,115	73,826
税金等調整前四半期純利益	83,115	73,826
法人税、住民税及び事業税	21,821	25,676
法人税等調整額	17,765	611
法人税等合計	39,587	26,287
少数株主損益調整前四半期純利益	43,527	47,538
四半期純利益	43,527	47,538

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,527	47,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,042	16,932
繰延ヘッジ損益	30,816	△210
その他の包括利益合計	26,774	16,721
四半期包括利益	70,301	64,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,301	64,260
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,619,615	761,347	2,380,962	—	2,380,962
セグメント利益	54,227	77,228	131,456	△48,341	83,115

(注) 1 セグメント利益の調整額△48,341千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費55,845千円、営業外収益11,864千円、営業外費用4,359千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,490,332	948,372	2,438,704	—	2,438,704
セグメント利益	83,480	68,918	152,398	△78,572	73,826

(注) 1 セグメント利益の調整額△78,572千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費68,999千円、営業外収益2,848千円、営業外費用12,421千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。